

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施）。

期日 学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、平成31年4月1日から6月30日までの間に実施。

## 3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。

なお、調査実施学校（園）数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	学校 （園）総 数	児童等 総数	調査実施学 校（園）数	発育状態調査		健康状態調査	
				調査対象者 （人）	抽出率 （%）	調査対象者 （人）	抽出率 （%）
幼稚園	321	5,632	34	829	14.7%	883	15.7%
小学校	282	56,885	58	5,499	9.7%	19,983	35.1%
中学校	160	31,052	39	4,585	14.8%	13,110	42.2%
高等学校	76	33,653	27	2,427	7.2%	16,918	50.3%
計	839	127,222	158	13,340	10.5%	50,894	40.0%

注1:発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2:学校（園）総数及び児童等総数は平成31年度学校基本調査（青森県分）による。

注3:幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む。

注4:幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみの人数である。

## 4 調査事項

（1）児童等の発育状態（身長及び体重）

（2）児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、眼の疾病・異常、難聴、耳鼻咽喉頭疾患、皮膚疾患、結核に関する検診、結核、心電図異常、心臓、蛋白検出、尿糖検出、その他の疾病・異常、歯・口腔、永久歯のう歯等数）

### 《利用上の注意》

- （1） この速報は、文部科学省がまとめた「令和元年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「令和元年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。
- （2） 年齢は、平成31年4月1日現在の満年齢である。
- （3） 統計表の中の記号  
「－」 計数がない場合  
「…」 調査対象とならなかった場合  
「0.00」 計数が単位未満の場合
- （4） 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 発育状態

#### (1) 身長

- ・男子は全年齢で全国平均を上回り、女子は17歳を除いた年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では13歳の1.5cm、女子では10歳の1.6cmとなっている。
- ・男子は6歳、7歳、女子は5歳、8歳、11歳、13歳で全国第1位となっている。
- ・年間発育量をみると、男子は12歳から13歳時に7.9cm、女子は9歳から10歳時に7.0cmが最大となっている。

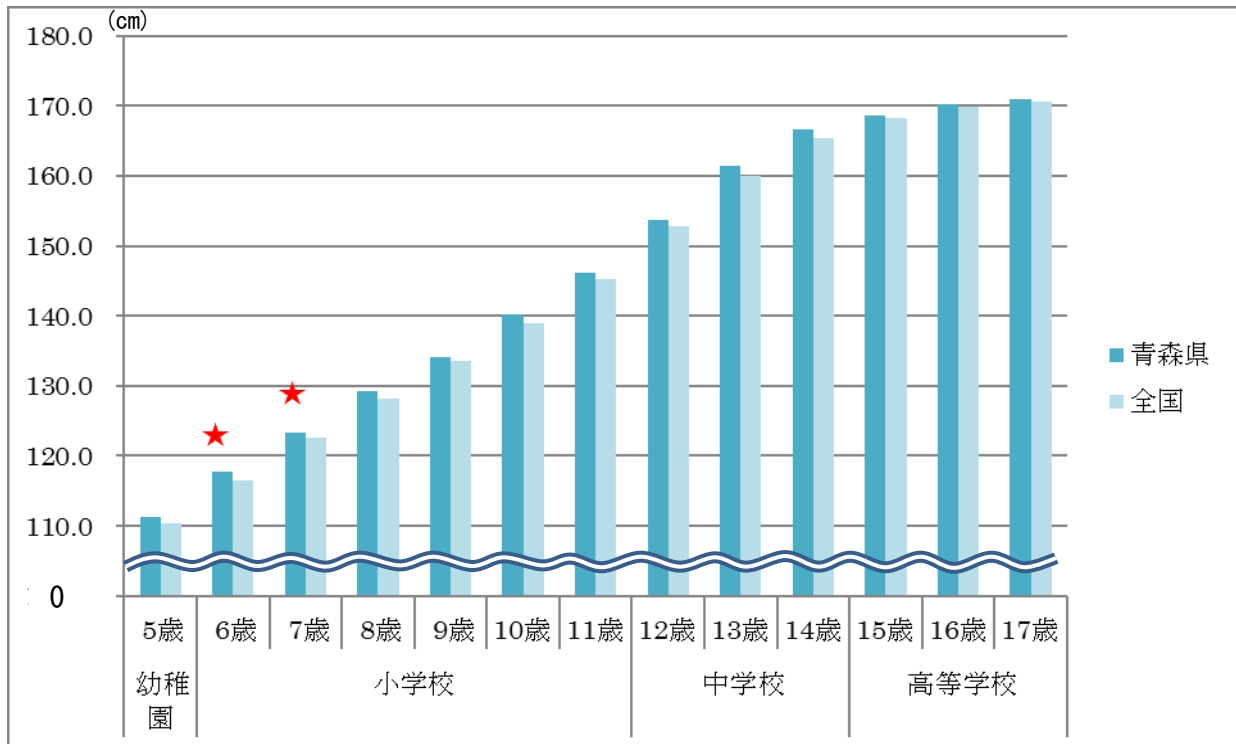
表1 身長の平均値

区 分		年齢	身長 (cm)								
			青森県 での調 査人数	令和元年度 (青森県) A	平成30年度 (青森県) B	昨年度との 差 A－B	年 間 発育量	令和年度 (全 国) C	全国との 差 A－C	令和元年度 青森県 順 位	30年度 青森県 順 位
男	幼稚園	5歳	419	111.2	111.3	-0.1	—	110.3	0.9	4	2
	小学校	6歳	452	117.8	116.9	0.9	6.5	116.5	1.3	1	4
		7歳	461	123.4	123.3	0.1	6.5	122.6	0.8	1	2
		8歳	457	129.2	128.9	0.3	5.9	128.1	1.1	2	4
		9歳	457	134.2	134.7	-0.5	5.3	133.5	0.7	4	1
		10歳	462	140.2	140.4	-0.2	5.5	139.0	1.2	2	1
		11歳	462	146.2	146.6	-0.4	5.8	145.2	1.0	4	3
	中学校	12歳	764	153.7	153.6	0.1	7.1	152.8	0.9	5	4
		13歳	774	161.5	161.3	0.2	7.9	160.0	1.5	2	2
		14歳	771	166.7	166.5	0.2	5.4	165.4	1.3	2	2
	高等学校	15歳	405	168.7	169.3	-0.6	2.2	168.3	0.4	10	2
		16歳	405	170.3	170.4	-0.1	1.0	169.9	0.4	7	3
		17歳	405	171.0	171.7	-0.7	0.6	170.6	0.4	10	1
女	幼稚園	5歳	410	110.6	110.4	0.2	—	109.4	1.2	1	2
	小学校	6歳	455	116.5	116.8	-0.3	6.1	115.6	0.9	2	1
		7歳	460	122.4	122.7	-0.3	5.6	121.4	1.0	2	2
		8歳	453	128.8	128.7	0.1	6.1	127.3	1.5	1	2
		9歳	463	134.6	134.8	-0.2	5.9	133.4	1.2	2	2
		10歳	455	141.8	142.0	-0.2	7.0	140.2	1.6	2	1
		11歳	462	147.8	148.1	-0.3	5.8	146.6	1.2	1	1
	中学校	12歳	762	152.8	152.7	0.1	4.7	151.9	0.9	2	3
		13歳	752	155.7	155.7	0.0	3.0	154.8	0.9	1	3
		14歳	762	156.8	156.7	0.1	1.1	156.5	0.3	11	11
	高等学校	15歳	405	157.6	157.5	0.1	0.9	157.2	0.4	8	9
		16歳	405	158.5	158.1	0.4	1.0	157.7	0.8	2	4
		17歳	402	157.8	158.3	-0.5	-0.3	157.9	-0.1	22	5

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の5.8cmは、146.2cm (令和元年度の11歳の数値) - 140.4cm (平成30年度の10歳の数値) で求められる。

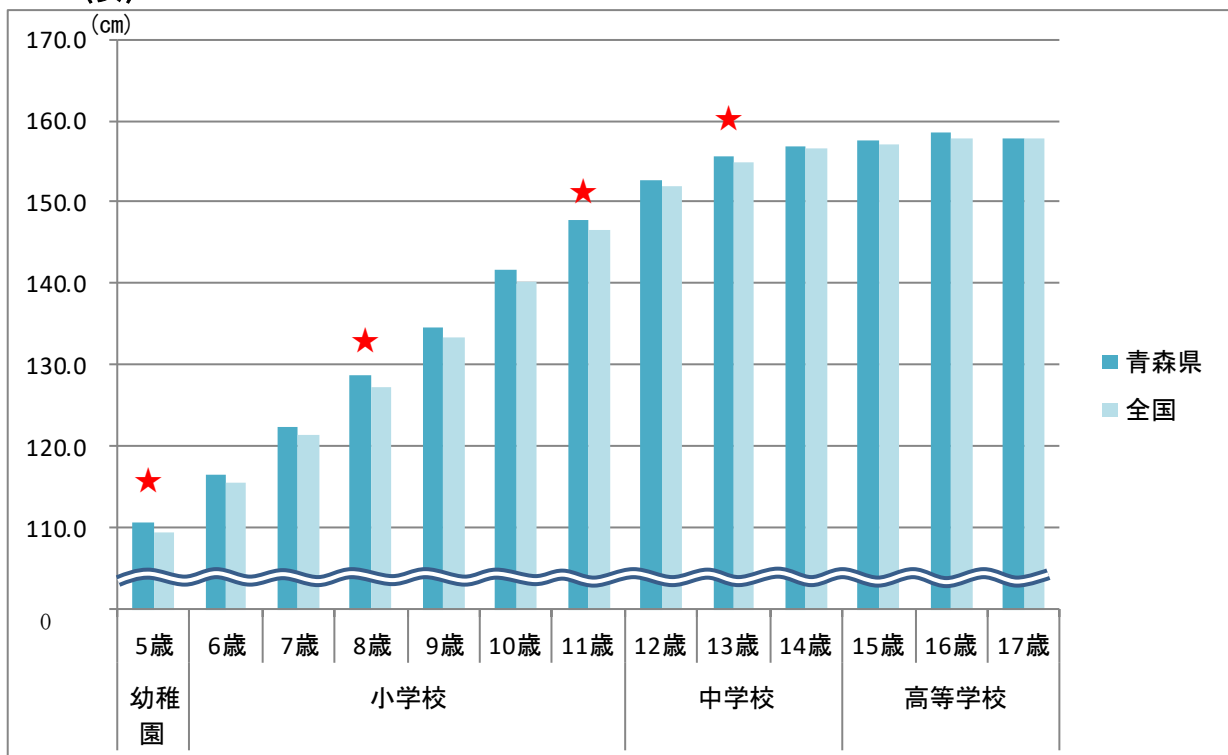
グラフ1 身長の平均値

〈男〉



★：全国1位

〈女〉



★：全国1位

## (2) 体 重

- ・男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では14歳の3.3kg、女子では12歳の2.1kgとなっている。
- ・男子は6歳、7歳、8歳、9歳、13歳、14歳、17歳、女子は5歳、6歳、8歳、10歳、12歳、14歳、15歳で全国第1位となっている。
- ・年間発育量をみると、男子は13歳から14歳時の6.1kg、女子は11歳から12歳時の4.9kgが最大となっている。

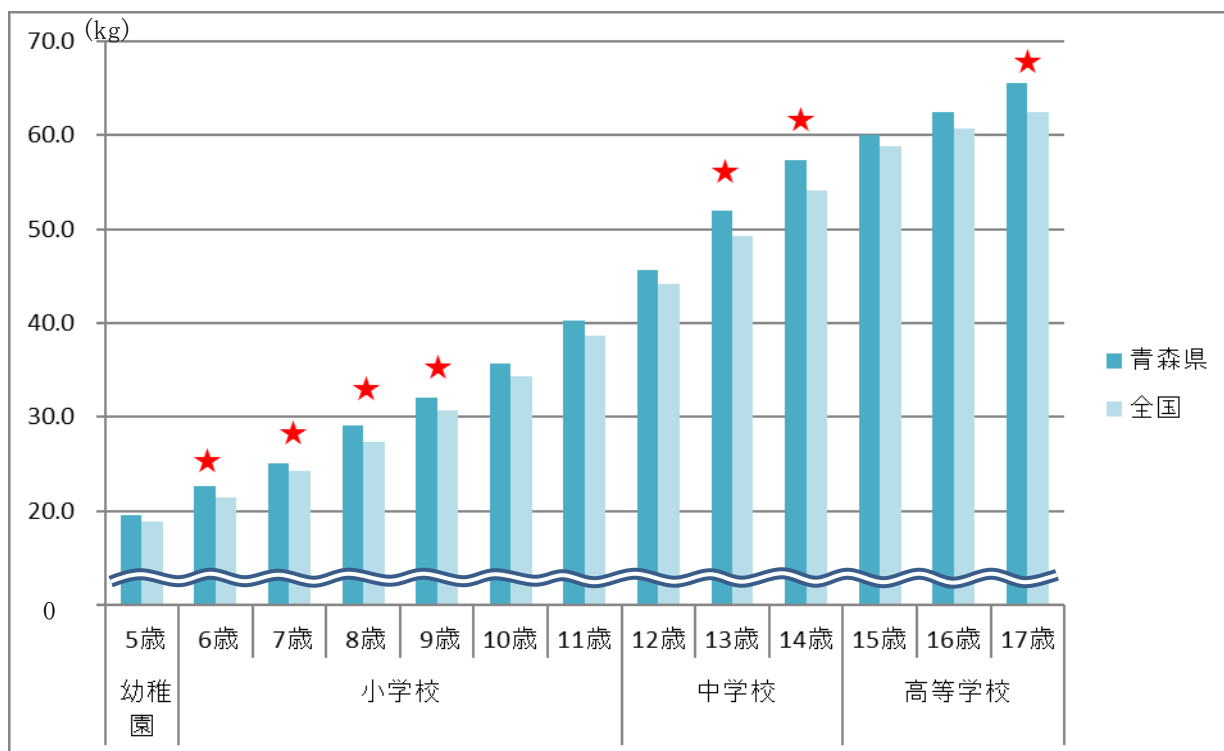
表2 体重の平均値

区 分		年 齢	体 重 (kg)								
			青森県 での調 査人数	令和元年度 (青森県) A	平成30年度 (青森県) B	昨年度との 差 A-B	年 間 発育量	令和元年度 (全 国) C	全国との 差 A-C	令和元年度 青森県 順 位	30年度 青森県 順 位
男	幼稚園	5歳	419	19.5	19.5	0.0	—	18.9	0.6	2	2
	小学校	6歳	452	22.6	21.8	0.8	3.1	21.4	1.2	1	4
		7歳	461	25.1	25.2	-0.1	3.3	24.2	0.9	1	1
		8歳	457	29.1	28.5	0.6	3.9	27.3	1.8	1	3
		9歳	457	32.1	32.6	-0.5	3.6	30.7	1.4	1	1
		10歳	462	35.7	36.1	-0.4	3.1	34.4	1.3	3	2
		11歳	462	40.2	40.5	-0.3	4.1	38.7	1.5	4	3
	中学校	12歳	764	45.7	46.0	-0.3	5.2	44.2	1.5	6	4
		13歳	774	52.0	51.3	0.7	6.0	49.2	2.8	1	3
		14歳	771	57.4	56.8	0.6	6.1	54.1	3.3	1	2
	高等学校	15歳	405	60.0	61.3	-1.3	3.2	58.8	1.2	8	1
		16歳	405	62.5	62.4	0.1	1.2	60.7	1.8	3	3
		17歳	405	65.5	64.8	0.7	3.1	62.5	3.0	1	2
女	幼稚園	5歳	410	19.4	19.2	0.2	—	18.6	0.8	1	3
	小学校	6歳	455	21.8	21.9	-0.1	2.6	20.9	0.9	1	1
		7歳	460	24.2	24.5	-0.3	2.3	23.5	0.7	2	3
		8歳	453	28.2	27.6	0.6	3.7	26.5	1.7	1	2
		9歳	463	31.5	31.5	0.0	3.9	30.0	1.5	2	2
		10歳	455	36.1	36.3	-0.2	4.6	34.2	1.9	1	1
		11歳	462	40.3	41.0	-0.7	4.0	39.0	1.3	3	1
	中学校	12歳	762	45.9	45.4	0.5	4.9	43.8	2.1	1	1
		13歳	752	48.8	49.4	-0.6	3.4	47.3	1.5	3	1
		14歳	762	51.9	51.8	0.1	2.5	50.1	1.8	1	1
	高等学校	15歳	405	53.5	52.3	1.2	1.7	51.7	1.8	1	7
		16歳	405	53.5	54.5	-1.0	1.2	52.7	0.8	7	2
		17歳	402	54.1	53.5	0.6	-0.4	53.0	1.1	4	11

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の4.1kgは、40.2kg  
(令和元年度の11歳の数値) - 36.1kg (30年度の10歳の数値) で求められる。

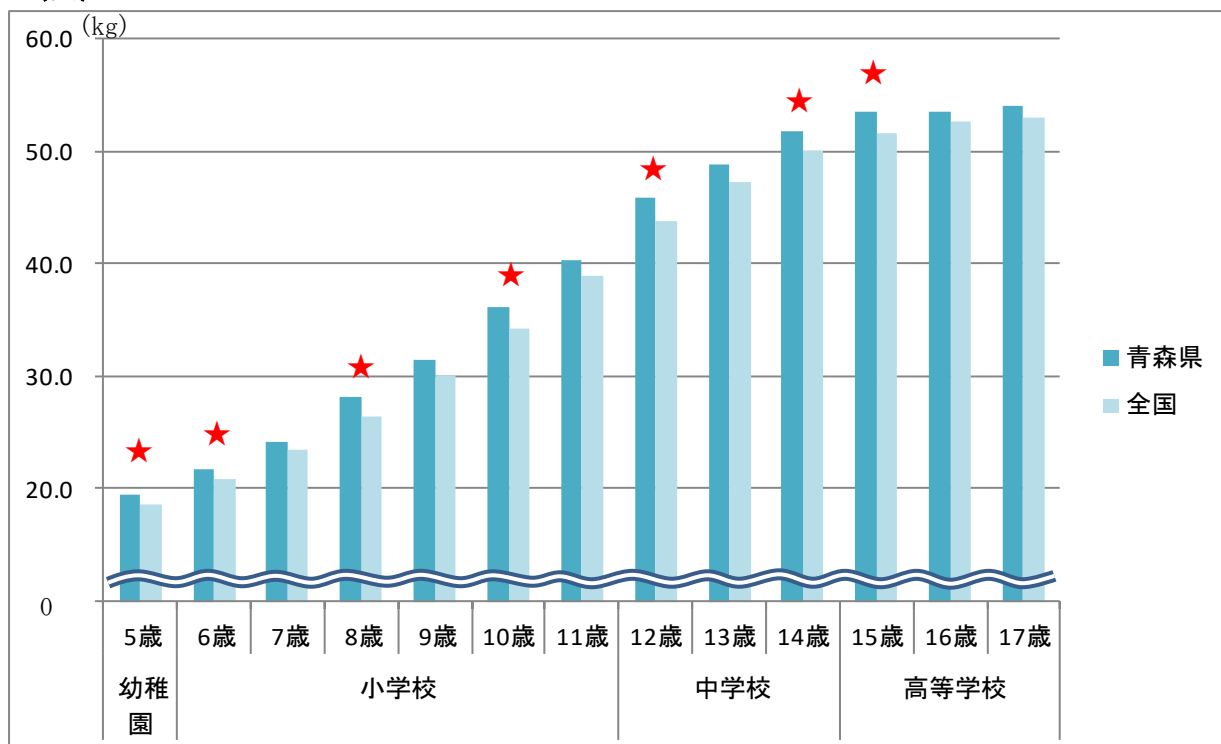
グラフ2 体重の平均値

〈男〉



★：全国1位

〈女〉



★：全国1位

### (3) 世代間比較

#### ア 親の世代（30年前）との身長・体重との比較

親の世代である30年前の平成元年度と比較すると、身長・体重のいずれも、大半の年齢で親世代を上回っている。

##### ① 身長

- ・男子では、5歳及び7歳を除いた各年齢で親の世代より高く、世代間の差は1.4歳が最も大きく、1.7cm上回っている。
- ・女子では、5歳、6歳、11歳及び14歳を除いた各年齢で親の世代より高く、世代間の差は1.2歳が最も大きく、1.0cm上回っている。

##### ② 体重

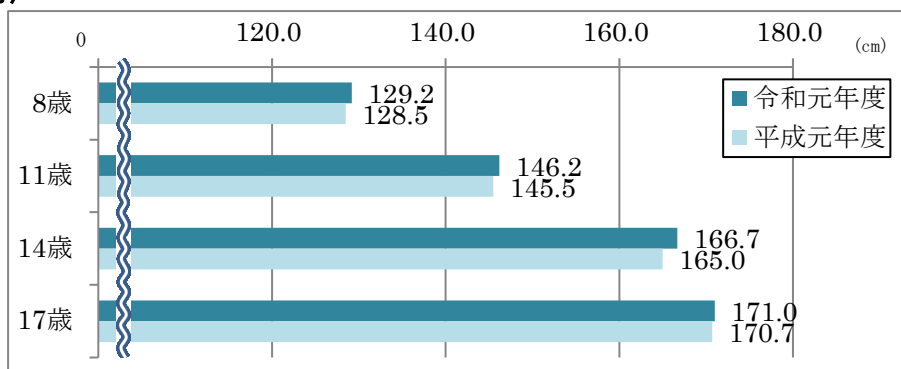
- ・男子では、5歳、7歳、12歳及び15歳を除く各年齢で親の世代より重く、世代間の差は1.7歳が最も大きく、1.8kg上回っている。
- ・女子では、5歳、9歳、11歳、13歳、15歳及び16歳を除く各年齢で親の世代より重く、世代間の差は1.1歳が最も大きく、1.4kg下回っている。

表3 30年前の身長・体重の平均値との比較

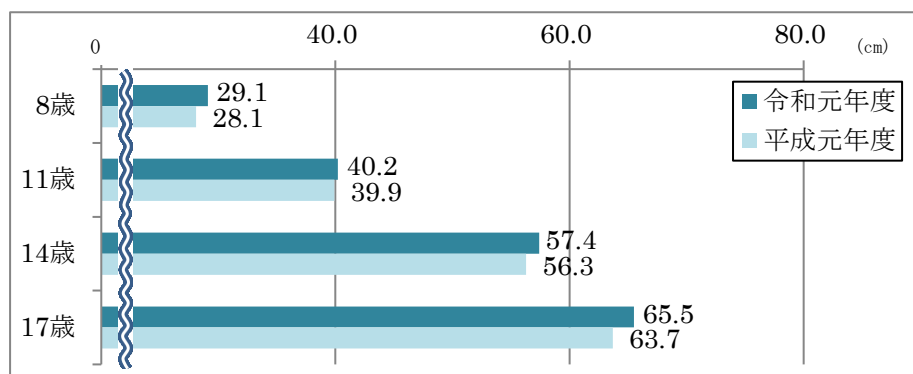
区 分		年 齢	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			令和元年度	平成元年度	差	令和元年度	平成元年度	差
			A	B	A－B	C	D	C－D
男	幼稚園	5歳	111.2	111.7	－0.5	19.5	20.0	－0.5
	小学校	6歳	117.8	117.3	0.5	22.6	21.9	0.7
		7歳	123.4	123.5	－0.1	25.1	25.2	－0.1
		8歳	129.2	128.5	0.7	29.1	28.1	1.0
		9歳	134.2	134.0	0.2	32.1	31.7	0.4
		10歳	140.2	139.5	0.7	35.7	35.5	0.2
		11歳	146.2	145.5	0.7	40.2	39.9	0.3
	中学校	12歳	153.7	152.8	0.9	45.7	45.9	－0.2
		13歳	161.5	160.1	1.4	52.0	51.4	0.6
		14歳	166.7	165.0	1.7	57.4	56.3	1.1
	高等学校	15歳	168.7	168.4	0.3	60.0	60.4	－0.4
		16歳	170.3	170.0	0.3	62.5	62.3	0.2
		17歳	171.0	170.7	0.3	65.5	63.7	1.8
女	幼稚園	5歳	110.6	111.1	－0.5	19.4	19.6	－0.2
	小学校	6歳	116.5	116.7	－0.2	21.8	21.8	0.0
		7歳	122.4	122.1	0.3	24.2	23.9	0.3
		8歳	128.8	128.5	0.3	28.2	27.9	0.3
		9歳	134.6	134.5	0.1	31.5	31.7	－0.2
		10歳	141.8	141.1	0.7	36.1	36.0	0.1
		11歳	147.8	147.9	－0.1	40.3	41.7	－1.4
	中学校	12歳	152.8	151.8	1.0	45.9	45.6	0.3
		13歳	155.7	155.3	0.4	48.8	49.5	－0.7
		14歳	156.8	157.3	－0.5	51.9	51.5	0.4
	高等学校	15歳	157.6	157.3	0.3	53.5	53.7	－0.2
		16歳	158.5	157.6	0.9	53.5	54.2	－0.7
		17歳	157.8	157.7	0.1	54.1	53.8	0.3

グラフ3 30年前（親の世代）の身長・体重の平均値との比較

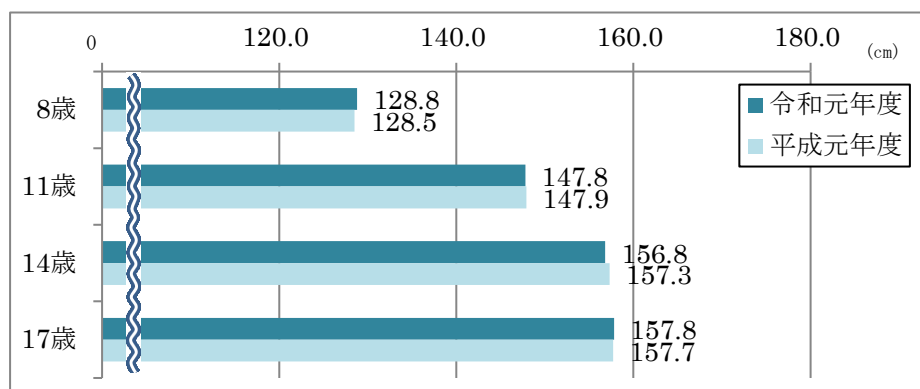
〈身長・男〉



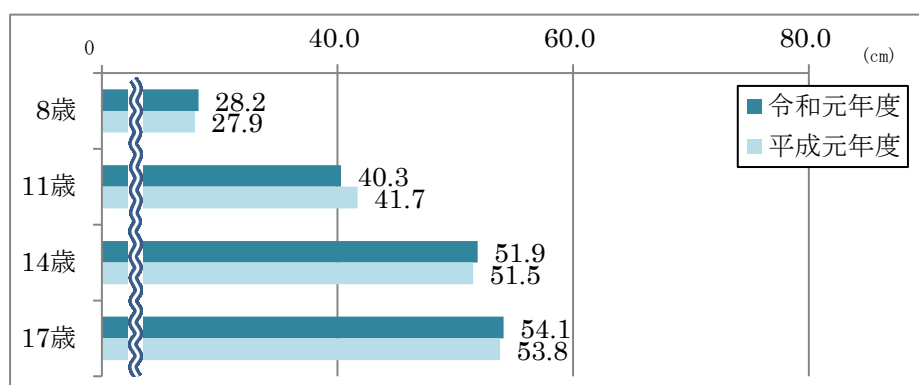
〈体重・男〉



〈身長・女〉



〈体重・女〉



## イ 子世代・親世代・祖父母との比較

- ・子世代、親の世代（30年前）、祖父母世代（55年前）を比較すると、11歳女子の身長及び体重、14歳女子の身長については、親の世代から子世代にかけて減少しているが、それ以外では、身長・体重とも各世代間で増加している。
- ・全体的に祖父母世代から親の世代が大きく増加しており、親の世代と子世代の間でも増加しているが、祖父母世代と親の世代の間に比べると幅は小さい。

**表4 子世代・親世代・祖父母との比較**

8歳（小学校3年生）

区分	平均身長(cm)		平均体重(kg)	
	男	女	男	女
祖父母世代（昭和39年度） （昭和30年度生まれ）	123.1	122.5	23.6	23.4
親の世代（平成元年度） （昭和55年度生まれ）	128.5	128.5	28.1	27.9
<b>子世代（令和元年度） （平成22年度生まれ）</b>	<b>129.2</b>	<b>128.8</b>	<b>29.1</b>	<b>28.2</b>

11歳（小学校6年生）

区分	平均身長(cm)		平均体重(kg)	
	男	女	男	女
祖父母世代（昭和39年度） （昭和27年度生まれ）	137.2	139.5	31.6	33.6
親の世代（平成元年度） （昭和52年度生まれ）	145.5	147.9	39.9	41.7
<b>子世代（令和元年度） （平成19年度生まれ）</b>	<b>146.2</b>	<b>147.8</b>	<b>40.2</b>	<b>40.3</b>

14歳（中学校3年生）

区分	平均身長(cm)		平均体重(kg)	
	男	女	男	女
祖父母世代（昭和39年度） （昭和24年度生まれ）	156.5	151.4	47.1	46.7
親の世代（平成元年度） （昭和49年度生まれ）	165.0	157.3	56.3	51.5
<b>子世代（令和元年度） （平成16年度生まれ）</b>	<b>166.7</b>	<b>156.8</b>	<b>57.4</b>	<b>51.9</b>

17歳（高校3年生）

区分	平均身長(cm)		平均体重(kg)	
	男	女	男	女
祖父母世代（昭和39年度） （昭和21年度生まれ）	165.2	154.1	58.1	51.5
親の世代（平成元年度） （昭和46年度生まれ）	170.7	157.7	63.7	53.8
<b>子世代（令和元年度） （平成13年度生まれ）</b>	<b>171.0</b>	<b>157.8</b>	<b>65.5</b>	<b>54.1</b>

## ウ 17歳の年間発育量と世代間比較

17歳（平成13年度生まれ）について、5歳時（平成19年度）から12年間の発育量をみると、男子は身長が60.0cm、体重が46.0kg、女子は身長が47.1cm、体重が34.6kgとなっている。

### ① 年間発育量が最も大きい時期

男子は、身長は11歳から12歳の間（8.1cm）、体重は12歳から13歳の間（5.8kg）が年間発育量の最大値となっている。女子は、身長は10歳から11歳の間（7.4cm）、体重は10歳から11歳の間（5.3kg）が年間発育量の最大値となっている。

### ② 親の世代（昭和46年度生まれ）との比較

年間発育量が最も大きい時期について、親の世代である30年前の昭和46年度生まれと比較すると、男子については、身長は平成13年度生まれの方が早期に最大値を迎え、体重については、12歳から13歳の間に共通して最大値を示している。女子については、10歳から11歳の間に、身長及び体重が共通して最大値を示している。

**表5 17歳の12年間の発育量（親の世代との比較）**

－ 平成13年度生まれ（平成31年4月時点17歳）と昭和46年度生まれ（平成元年4月時点17歳）の比較 －

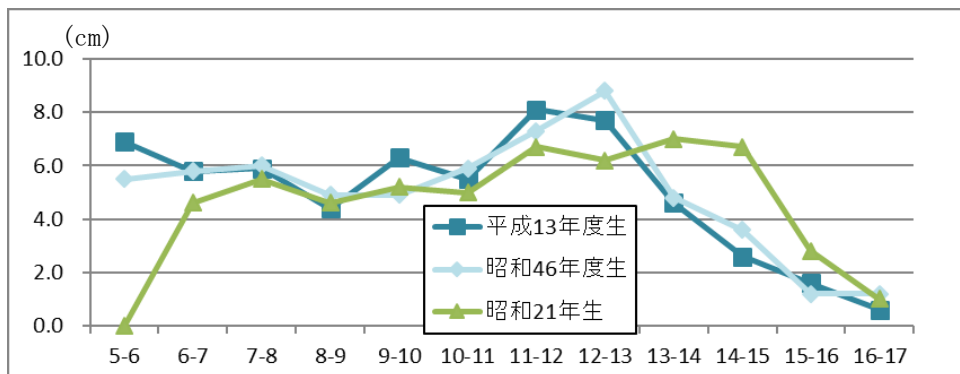
区 分			当時	身 長 (c m)				体 重 (k g)			
				平成13年度 生まれ	年 間 発育量	昭和46年度 生まれ	年 間 発育量	平成13年度 生まれ	年 間 発育量	昭和46年度 生まれ	年 間 発育量
男	幼稚園	5歳	111.0		110.8		19.5		19.6		
		6歳	117.9	6.9	116.3	5.5	22.9	3.4	20.9	1.3	
	小学校	7歳	123.7	5.8	122.1	5.8	25.4	2.5	24.2	3.3	
		8歳	129.6	5.9	128.1	6.0	28.9	3.5	27.0	2.8	
		9歳	134.0	4.4	133.0	4.9	31.7	2.8	30.0	3.0	
		10歳	140.3	6.3	137.9	4.9	36.1	4.4	33.2	3.2	
		11歳	145.8	5.5	143.8	5.9	40.1	4.0	37.9	4.7	
		中学校	12歳	153.9	8.1	151.1	7.3	45.7	5.6	43.4	5.5
	13歳		161.6	7.7	159.9	8.8	51.5	5.8	50.1	6.7	
	14歳		166.2	4.6	164.7	4.8	55.9	4.4	54.9	4.8	
	高等学校	15歳	168.8	2.6	168.3	3.6	61.5	5.6	60.2	5.3	
		16歳	170.4	1.6	169.5	1.2	62.4	0.9	61.9	1.7	
		17歳	171.0	0.6	170.7	1.2	65.5	3.1	63.7	1.8	
1 2 年間の発育量		60.0		59.9		46.0		44.1			
女	幼稚園	5歳	110.7		109.7		19.5		19.1		
		6歳	116.5	5.8	115.1	5.4	22.1	2.6	20.3	1.2	
	小学校	7歳	122.1	5.6	121.2	6.1	24.1	2.0	23.1	2.8	
		8歳	128.4	6.3	127.0	5.8	27.6	3.5	26.2	3.1	
		9歳	135.2	6.8	133.0	6.0	32.0	4.4	29.6	3.4	
		10歳	141.5	6.3	139.5	6.5	35.7	3.7	33.8	4.2	
		11歳	148.9	7.4	146.0	6.5	41.0	5.3	39.3	5.5	
		中学校	12歳	152.7	3.8	151.6	5.6	45.0	4.0	44.6	5.3
	13歳		155.6	2.9	154.9	3.3	48.7	3.7	48.2	3.6	
	14歳		156.8	1.2	156.5	1.6	52.3	3.6	51.1	2.9	
	高等学校	15歳	157.2	0.4	156.9	0.4	53.1	0.8	53.2	2.1	
		16歳	158.1	0.9	158.2	1.3	54.5	1.4	54.3	1.1	
		17歳	157.8	-0.3	157.7	-0.5	54.1	-0.4	53.8	-0.5	
1 2 年間の発育量		47.1		48.0		34.6		34.7			

（注）：年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、平成13年度生まれの6歳時の年間発育量は、平成20年度の6歳の数値から平成19年度の5歳の数値を引いたものである。

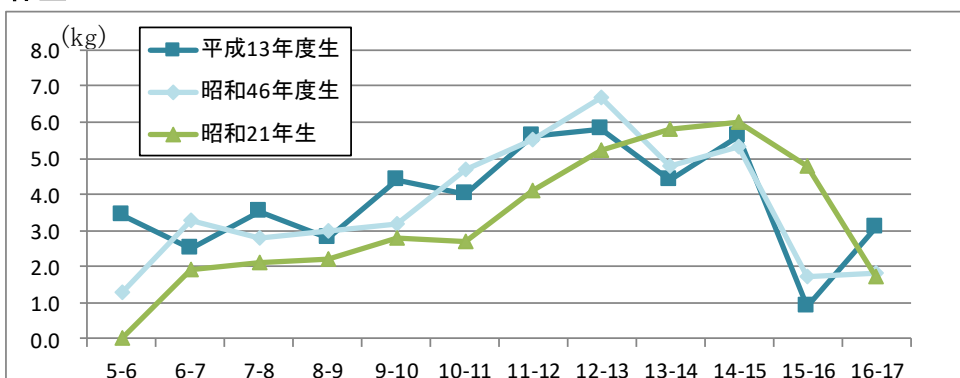
- ・年間発育量を世代間で比較すると、男子女子共に身長、体重のいずれも、現代に近い世代ほど早期に増加している。

グラフ4 年間発育量の世代間比較

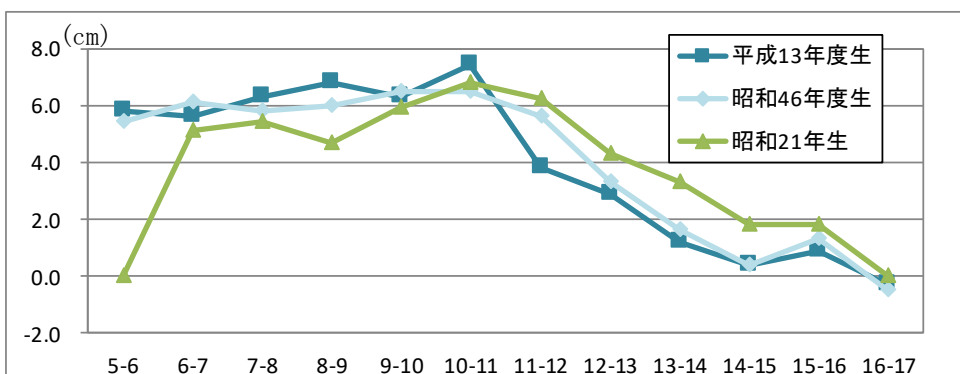
○男子身長



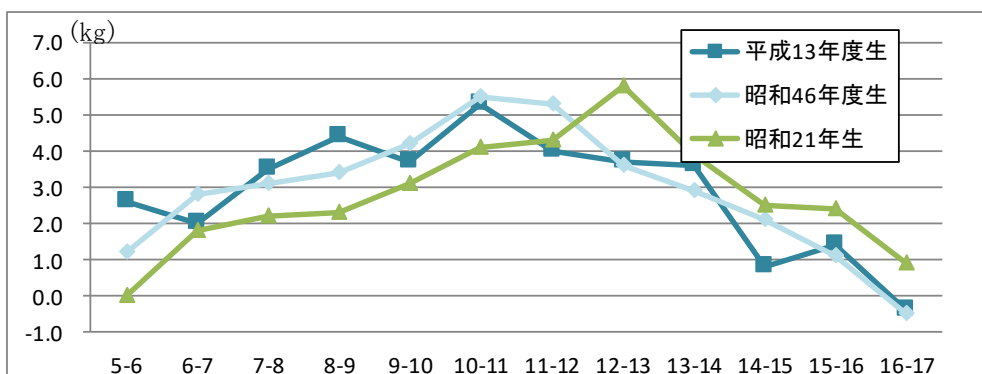
○男子体重



○女子身長



○女子体重



#### (4) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率は、男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っている。

##### ① 肥満傾向児

- ・男子では、17歳の出現率が17.34%で最も高く、全国値との差は8歳が最も大きく、7.20ポイント上回っている。
- ・女子では、15歳の出現率が13.91%で最も高く、全国値との差では8歳が最も大きく、6.61ポイント上回っている。
- ・男子は6歳、8歳、9歳及び17歳、女子は5歳、6歳、8歳、14歳及び15歳で全国第1位となっている。

##### ② 痩身傾向児

- ・男子では、15歳の出現率が5.22%で最も高く、全国値との差では17歳が最も大きく、2.02ポイント下回っている。
- ・女子では、13歳の出現率が3.41%で最も高く、全国値との差では12歳が最も大きく、1.38ポイント下回っている。

表6 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

単位 (%)

区 分			年齢	肥 満 傾 向 児							瘦 身 傾 向 児							単位 (％)	
				令和元年度 (青森県) A	平成30年度 (青森県) B	昨年度との 差 A－B	令和元年度 (全 国) C	全国との 差 A－C	令和元年度 青森県 順 位	3 0 年度 青森県 順 位	令和元年度 (青森県) D	平成30年度 (青森県) E	昨年度との 差 D－E	令和元年度 (全 国) F	全国との 差 D－F	令和元年度 青森県 順 位	3 0 年度 青森県 順 位		
男	幼稚園	5歳	3. 12	3. 22	-0. 10	2. 63	0. 49	16	10	0. 20	0. 11	0. 09	0. 33	-0. 13	26	36			
		6歳	9. 59	6. 72	2. 87	4. 68	4. 91	1	10	0. 47	0. 30	0. 17	0. 42	0. 05	22	23			
	小学校	7歳	10. 41	9. 47	0. 94	6. 41	4. 00	3	2	0. 77	0. 90	-0. 13	0. 37	0. 40	6	7			
		8歳	15. 36	14. 16	1. 20	8. 16	7. 20	1	1	1. 17	1. 38	-0. 21	0. 73	0. 44	8	11			
		9歳	16. 17	13. 74	2. 43	10. 57	5. 60	1	6	0. 37	0. 69	-0. 32	1. 55	-1. 18	46	45			
		10歳	13. 12	13. 14	-0. 02	10. 63	2. 49	10	9	2. 99	2. 26	0. 73	2. 61	0. 38	14	28			
		11歳	13. 11	13. 52	-0. 41	11. 11	2. 00	14	9	3. 48	3. 09	0. 39	3. 25	0. 23	13	23			
		中学校	12歳	14. 08	14. 88	-0. 80	11. 18	2. 90	7	5	3. 24	2. 06	1. 18	2. 99	0. 25	15	34		
	13歳		12. 96	13. 06	-0. 10	9. 63	3. 33	5	3	1. 56	1. 39	0. 17	2. 31	-0. 75	36	38			
	14歳		14. 48	10. 86	3. 62	8. 96	5. 52	2	8	1. 66	1. 02	0. 64	2. 40	-0. 74	35	44			
	高等学校	15歳	15. 82	19. 80	-3. 98	11. 72	4. 10	3	1	5. 22	2. 02	3. 20	3. 60	1. 62	2	40			
		16歳	15. 59	13. 28	2. 31	10. 50	5. 09	3	10	1. 61	2. 83	-1. 22	2. 60	-0. 99	42	16			
		17歳	17. 34	16. 32	1. 02	10. 56	6. 78	1	1	0. 66	0. 86	-0. 20	2. 68	-2. 02	47	46			
女	幼稚園	5歳	7. 28	5. 38	1. 90	2. 93	4. 35	1	4	0. 40	0. 83	-0. 43	0. 31	0. 09	21	7			
		6歳	9. 51	8. 32	1. 19	4. 33	5. 18	1	1	0. 60	0. 66	-0. 06	0. 56	0. 04	18	17			
	小学校	7歳	8. 76	8. 67	0. 09	5. 61	3. 15	3	4	0. 33	0. 51	-0. 18	0. 45	-0. 12	32	25			
		8歳	13. 49	9. 28	4. 21	6. 88	6. 61	1	9	2. 12	1. 10	1. 02	1. 09	1. 03	2	19			
		9歳	11. 29	11. 27	0. 02	7. 85	3. 44	6	4	0. 38	3. 07	-2. 69	1. 65	-1. 27	47	1			
		10歳	12. 21	9. 64	2. 57	8. 46	3. 75	3	11	2. 37	2. 73	-0. 36	2. 71	-0. 34	23	12			
		11歳	10. 02	12. 41	-2. 39	8. 84	1. 18	18	3	1. 83	2. 61	-0. 78	2. 67	-0. 84	35	22			
		中学校	12歳	13. 26	11. 07	2. 19	8. 48	4. 78	3	11	2. 84	2. 58	0. 26	4. 22	-1. 38	36	44		
	13歳		9. 73	10. 64	-0. 91	7. 88	1. 85	15	6	3. 41	2. 64	0. 77	3. 56	-0. 15	21	38			
	14歳		11. 44	12. 15	-0. 71	7. 37	4. 07	1	1	2. 26	1. 90	0. 36	2. 59	-0. 33	24	30			
	高等学校	15歳	13. 91	7. 95	5. 96	7. 84	6. 07	1	28	2. 04	1. 88	0. 16	2. 36	-0. 32	25	28			
		16歳	8. 80	12. 06	-3. 26	7. 30	1. 50	10	2	2. 43	2. 77	-0. 34	1. 89	0. 54	11	7			
		17歳	10. 92	8. 83	2. 09	7. 99	2. 93	4	21	1. 40	1. 93	-0. 53	1. 71	-0. 31	29	15			

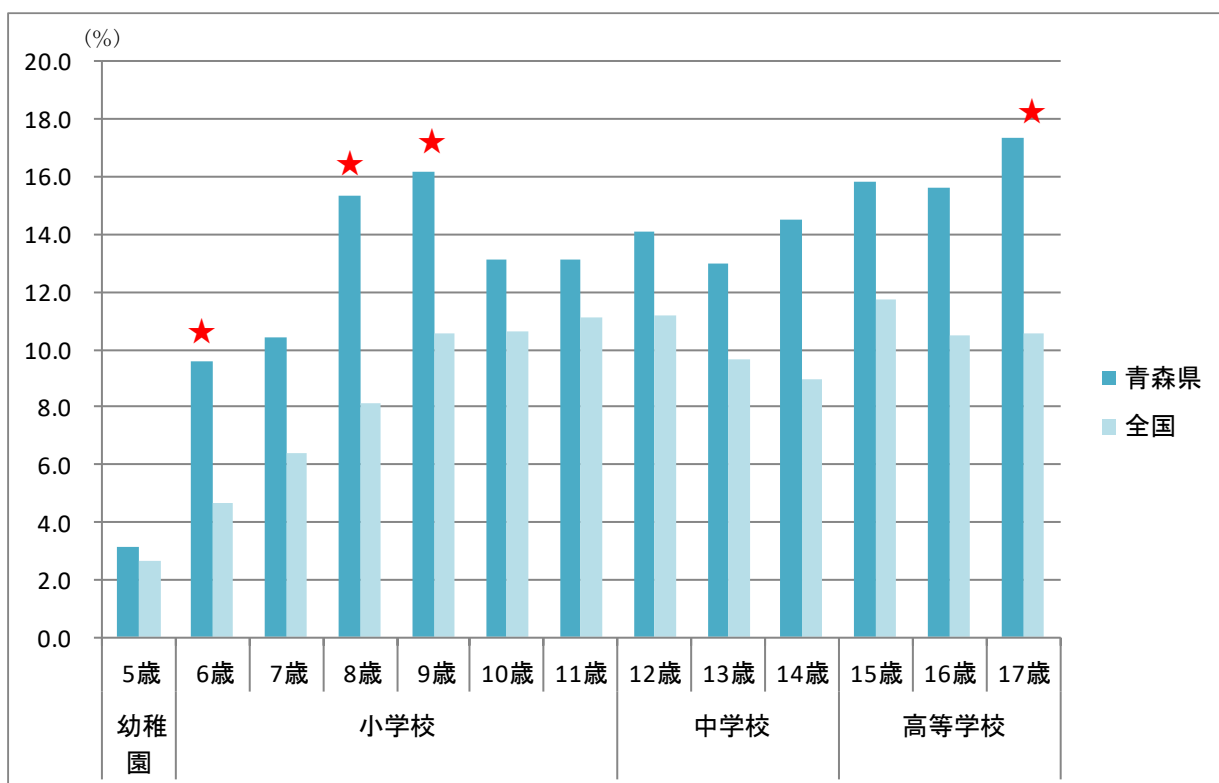
注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

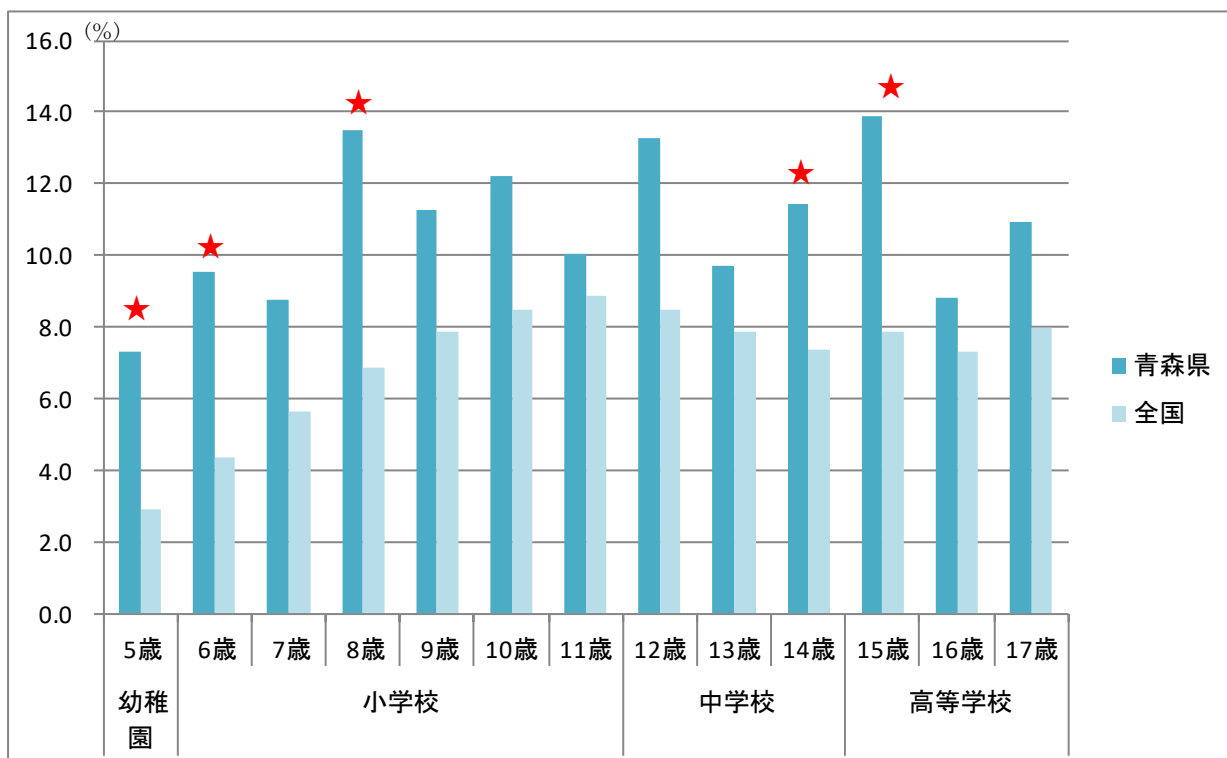
グラフ5 肥満傾向児の出現率

〈男〉



★ : 全国 1 位

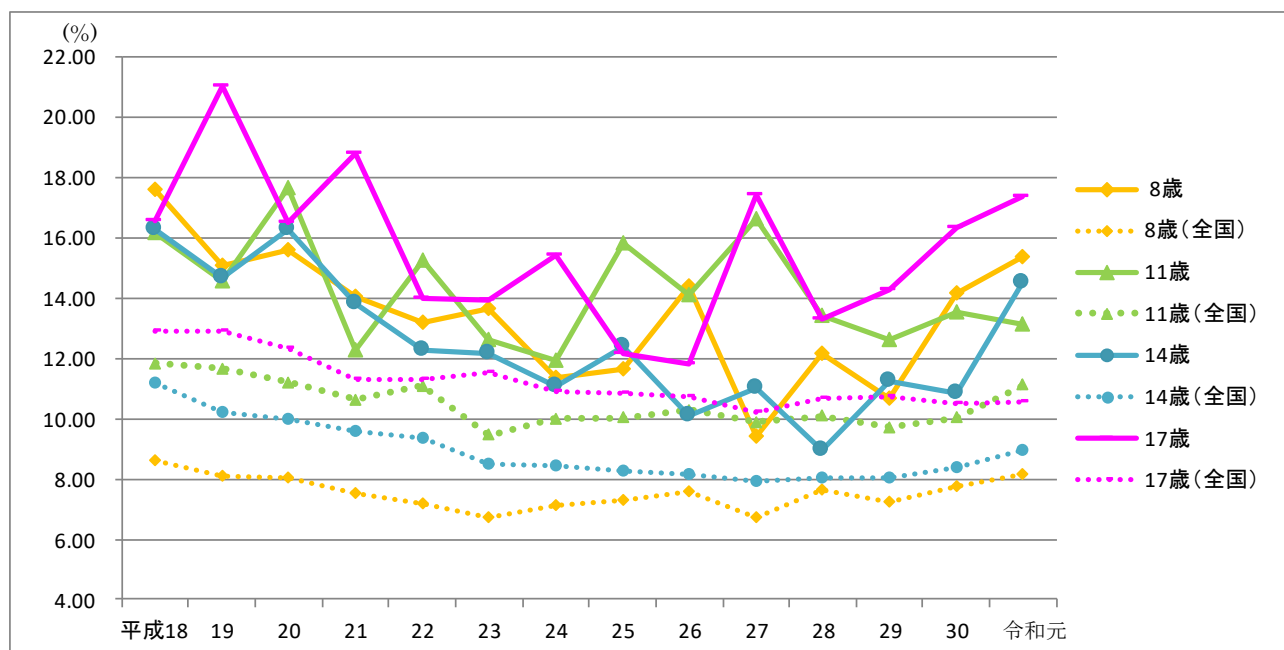
〈女〉



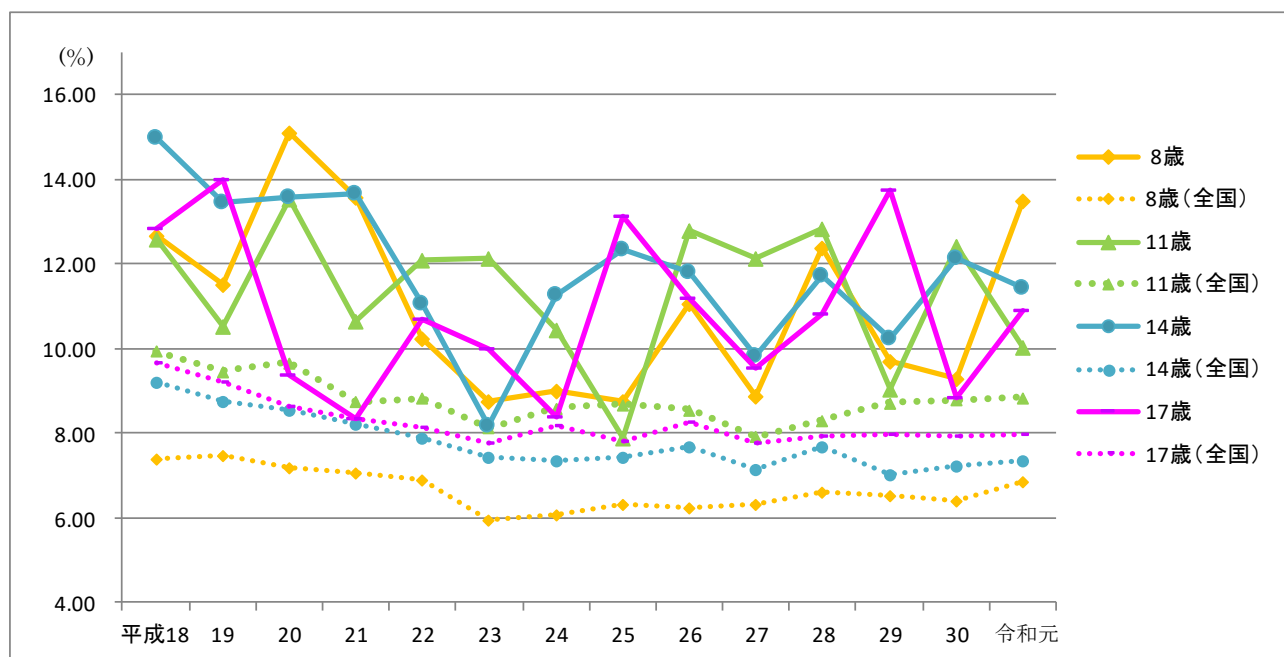
★ : 全国 1 位

グラフ6 肥満傾向児の出現率の推移

○男子



○女子



## 2 健康状態

### (1) 疾病・異常の被患率等の状況

- ・ 幼稚園及び小学校においては「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高く、小学校では次いで「裸眼視力1.0未満の者」の順になっている。
- ・ 中学校及び高等学校においては、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで「むし歯（う歯）」の順になっている。

表7 疾病・異常の被患率等別状況

区 分	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
70%以上～80%未満				裸眼視力1.0未満の者
60～70			裸眼視力1.0未満の者	
50～60		むし歯(う歯)		むし歯(う歯)
40～50	むし歯(う歯)	裸眼視力1.0未満の者	むし歯(う歯)	
30～40				
20～30				
10～20		鼻・副鼻腔疾患 歯・口腔のその他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患	
1～10	8～10	歯列・咬合		
	6～8			
	4～6	耳疾患 歯垢の状態 歯肉の状態 ぜん息	眼の疾病・異常 耳疾患 歯列・咬合 歯垢の状態 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患 歯肉の状態
	2～4	歯列・咬合 歯垢の状態 栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の状態 心電図異常	せき柱・胸郭・四肢の状態 心電図異常	眼の疾病・異常 歯列・咬合 歯垢の状態 蛋白検出の者
	1～2	歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患	歯肉の状態 アトピー性皮膚炎 ぜん息	歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 心電図異常 ぜん息
0.1～1	0.5～1	鼻・副鼻腔疾患 蛋白検出の者	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 その他の皮膚疾患 蛋白検出の者	耳疾患 顎関節 栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の状態
	0.1～0.5	口腔咽喉頭疾患・異常 栄養状態 心臓の疾病・異常	顎関節 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 その他の皮膚疾患 結核 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患
0.1%未満				口腔咽喉頭疾患・異常 言語障害

注：1. この表は、健康診断受検者のうち疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の占める割合の推定値を示したものである。

2. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、扁桃肥大、咽喉炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常のある者等である。
3. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。
4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
5. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
6. 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出（陽性（＋以上）又は擬陽性（±）と判定）された者である。
7. 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出（陽性（＋以上）と判定）された者である。

## (2) 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等の主なものの推移は、表8のとおりとなっている。

表8 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳  疾  患	疾 鼻 ・ 副 鼻 患腔	疾 口 腔 ・ 咽 喉 常頭	(む う し 歯 ) 歯	皮 ア ト 膚 ビ ー 炎 性	心 電 図 異 常	の 蛋 白 検 者 出	ぜ  ん  息
幼稚園	青森県 平成21年度	X	7.5	X	2.2	60.5	1.1	…	－	0.6
	青森県 平成27年度	12.7	2.5	2.2	1.8	46.3	2.0	…	－	1.2
	青森県 平成28年度	X	－	1.7	0.4	50.5	1.4	…	－	0.8
	青森県 平成29年度	X	2.1	1.7	0.7	56.8	1.3	…	1.6	2.0
	青森県 平成30年度	26.5	0.6	2.0	0.8	46.2	2.3	…	0.3	1.5
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>X</b>	<b>5.2</b>	<b>0.5</b>	<b>0.2</b>	<b>41.4</b>	<b>1.9</b>	<b>…</b>	<b>0.9</b>	<b>4.6</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>26.1</b>	<b>2.6</b>	<b>3.2</b>	<b>1.5</b>	<b>31.2</b>	<b>2.3</b>	<b>…</b>	<b>1.0</b>	<b>1.8</b>
小学校	青森県 平成21年度	42.8	5.0	16.8	1.0	71.6	1.7	1.5	0.6	2.4
	青森県 平成27年度	44.5	7.4	18.4	1.1	60.8	1.3	2.5	0.8	1.7
	青森県 平成28年度	45.8	5.7	19.1	1.4	62.4	1.3	2.0	1.1	1.9
	青森県 平成29年度	44.2	4.9	16.3	1.0	60.2	1.7	1.3	1.1	2.1
	青森県 平成30年度	46.2	5.6	20.4	1.6	57.5	2.2	1.5	0.6	2.4
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>46.2</b>	<b>5.5</b>	<b>15.5</b>	<b>0.7</b>	<b>54.9</b>	<b>1.4</b>	<b>2.6</b>	<b>0.7</b>	<b>1.8</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>34.6</b>	<b>6.3</b>	<b>11.8</b>	<b>1.3</b>	<b>44.8</b>	<b>3.3</b>	<b>2.4</b>	<b>1.0</b>	<b>3.4</b>
中学校	青森県 平成21年度	X	4.1	14.9	0.4	64.9	1.3	2.1	1.2	1.0
	青森県 平成27年度	65.0	3.3	13.8	0.3	49.7	1.1	2.5	2.1	1.1
	青森県 平成28年度	63.7	3.7	12.5	0.5	49.5	1.3	1.8	2.6	0.9
	青森県 平成29年度	67.8	4.8	17.8	1.0	49.2	1.2	2.1	2.7	1.4
	青森県 平成30年度	64.4	4.4	17.5	0.4	45.7	1.3	1.9	2.4	1.4
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>66.5</b>	<b>4.4</b>	<b>16.2</b>	<b>0.4</b>	<b>45.7</b>	<b>1.1</b>	<b>2.5</b>	<b>1.6</b>	<b>0.9</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>57.5</b>	<b>4.7</b>	<b>12.1</b>	<b>0.7</b>	<b>34.0</b>	<b>2.9</b>	<b>3.3</b>	<b>3.4</b>	<b>2.6</b>
高等学校	青森県 平成21年度	X	2.0	12.2	0.7	73.4	0.8	1.6	1.7	0.8
	青森県 平成27年度	71.1	2.1	5.7	0.5	56.4	1.2	1.1	2.0	1.0
	青森県 平成28年度	67.7	5.1	17.1	0.1	60.8	1.1	2.1	2.2	0.8
	青森県 平成29年度	69.0	3.9	15.7	0.1	59.9	1.0	2.0	2.9	1.0
	青森県 平成30年度	72.4	2.2	10.8	0.1	57.4	1.3	1.9	3.1	1.0
	<b>青森県 令和元年度</b>	<b>71.5</b>	<b>0.6</b>	<b>5.6</b>	<b>0.0</b>	<b>51.9</b>	<b>1.1</b>	<b>1.8</b>	<b>3.0</b>	<b>1.4</b>
	<b>全 国 令和元年度</b>	<b>67.6</b>	<b>2.9</b>	<b>9.9</b>	<b>0.5</b>	<b>43.7</b>	<b>2.4</b>	<b>3.3</b>	<b>3.4</b>	<b>1.8</b>

注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。

2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。

3. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

ア．裸眼視力1.0未満の者

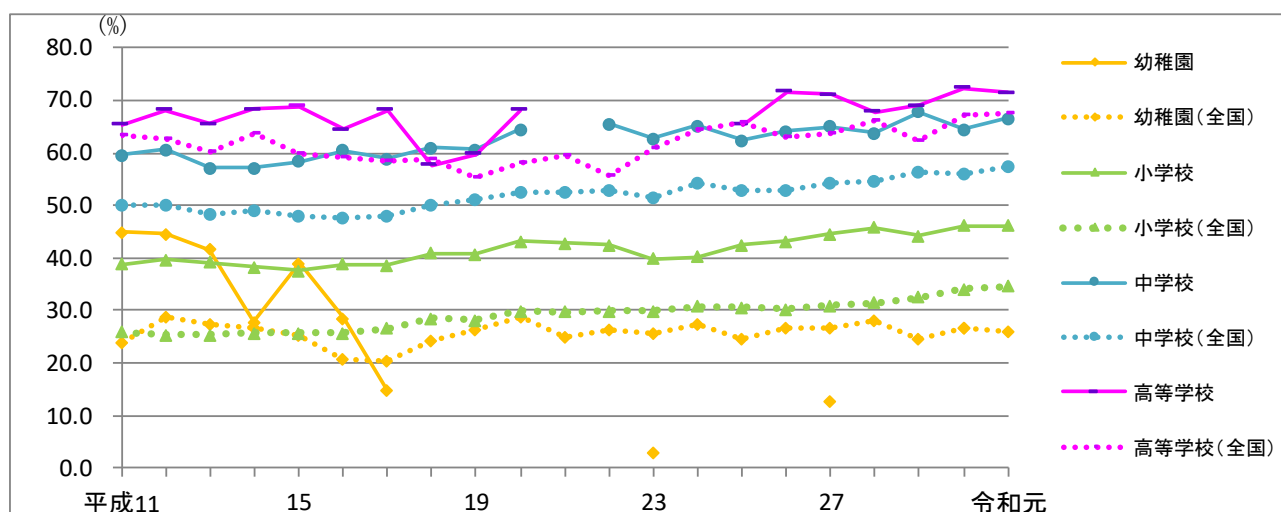
- ・「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、20年前と比較すると、幼稚園を除いて、その割合は増加している。
- ・年次推移でみると、全学校区分で、概ね全国平均を上回りながら、増加している。

表9 裸眼視力1.0未満の者の推移

単位（％）

		平成11年	21	27	28	29	30	令和元
幼稚園	計	44.9	X	12.7	X	X	26.5	X
	1.0未満0.7以上	35.0	X	9.6	X	X	20.6	X
	0.7未満0.3以上	9.6	X	3.1	X	X	5.2	X
	0.3未満	0.2	X	-	X	X	0.7	X
小学校	計	38.8	42.8	44.5	45.8	44.2	46.2	46.2
	1.0未満0.7以上	17.6	16.5	16.2	16.0	15.8	16.5	16.2
	0.7未満0.3以上	13.1	14.1	15.8	16.2	15.1	16.0	15.9
	0.3未満	8.1	12.2	12.5	13.6	13.3	13.6	14.0
中学校	計	59.5	X	65.0	63.7	67.8	64.4	66.5
	1.0未満0.7以上	11.0	X	9.0	11.1	10.1	9.1	10.2
	0.7未満0.3以上	18.3	X	16.8	15.2	15.9	16.7	17.4
	0.3未満	30.2	X	39.2	37.4	41.9	38.6	38.9
高等学校	計	65.4	X	71.1	67.7	69.0	72.4	71.5
	1.0未満0.7以上	10.3	X	9.2	7.4	9.8	8.5	8.3
	0.7未満0.3以上	16.2	X	17.0	12.5	17.0	16.2	13.0
	0.3未満	38.9	X	44.9	47.8	42.2	47.7	50.3

グラフ7 裸眼視力1.0未満の者の推移



イ. むし歯（う歯）

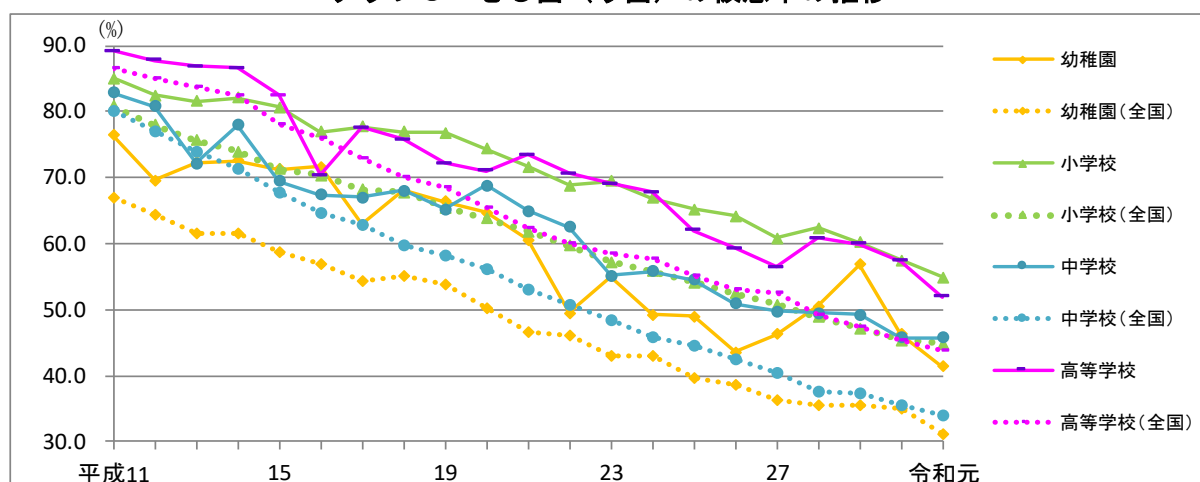
- ・ 20年前と比較すると、全学校区分において、その割合は減少している。
- ・ 年次推移をみると、全学校区分において、概ね全国平均を上回りながら、減少している。

表10 むし歯（う歯）の被患率の推移

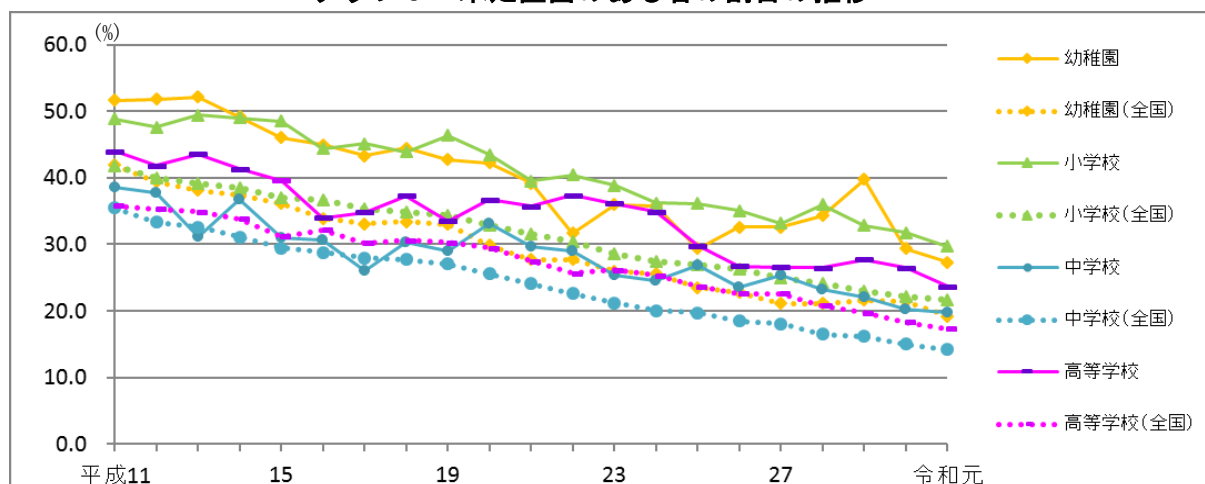
単位（％）

区分		平成11年	21年	27年	28年	29年	30年	令和元年
幼稚園	計	76.4	60.5	46.3	50.5	56.8	46.2	41.4
	処置完了者	24.8	21.3	13.7	16.2	17.0	16.8	14.0
	未処置のある者	51.6	39.2	32.6	34.3	39.8	29.4	27.3
小学校	計	85.0	71.6	60.8	62.4	60.2	57.5	54.9
	処置完了者	36.3	32.1	27.6	26.3	27.4	25.7	25.2
	未処置のある者	48.8	39.5	33.2	36.0	32.8	31.8	29.7
中学校	計	82.8	64.9	49.7	49.5	49.2	45.7	45.7
	処置完了者	44.2	35.2	24.3	26.3	27.1	25.5	26.0
	未処置のある者	38.6	29.7	25.3	23.2	22.1	20.2	19.8
高等学校	計	89.1	73.4	56.4	60.8	59.9	57.4	51.9
	処置完了者	45.1	37.7	29.8	34.3	32.2	30.9	28.2
	未処置のある者	44.0	35.7	26.6	26.5	27.7	26.5	23.7

グラフ8 むし歯（う歯）の被患率の推移

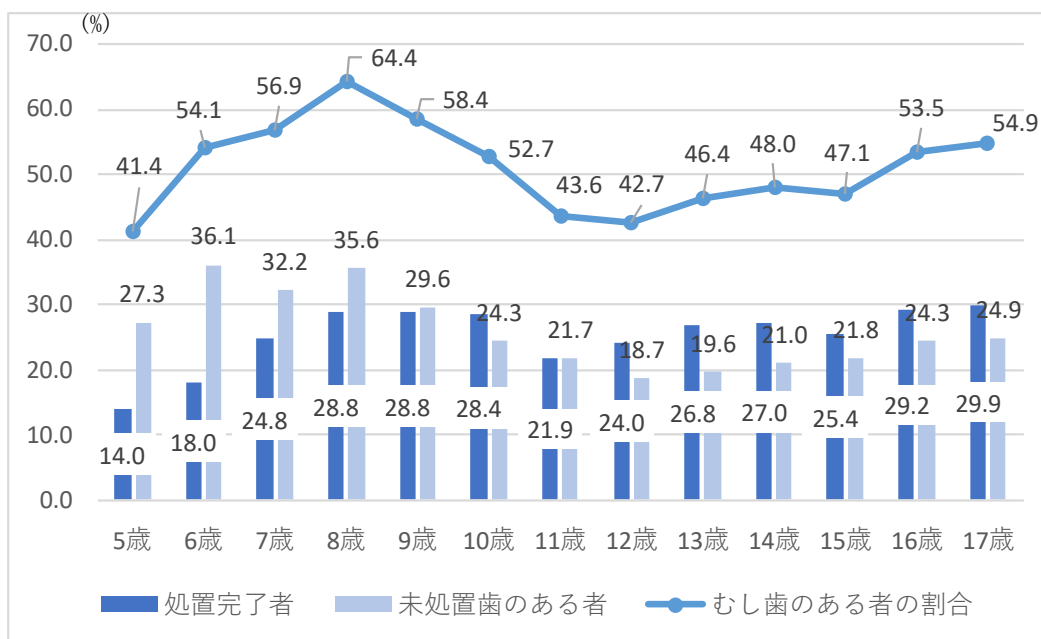


グラフ9 未処置歯のある者の割合の推移



- ・「むし歯」の者の割合を年齢別にみると、8歳が64.4%と最も高くなっている。また、処置完了者の割合は、10歳以降、未処置歯のある者の割合を上回っている。

グラフ10 年齢別 むし歯（う歯）の者の割合等



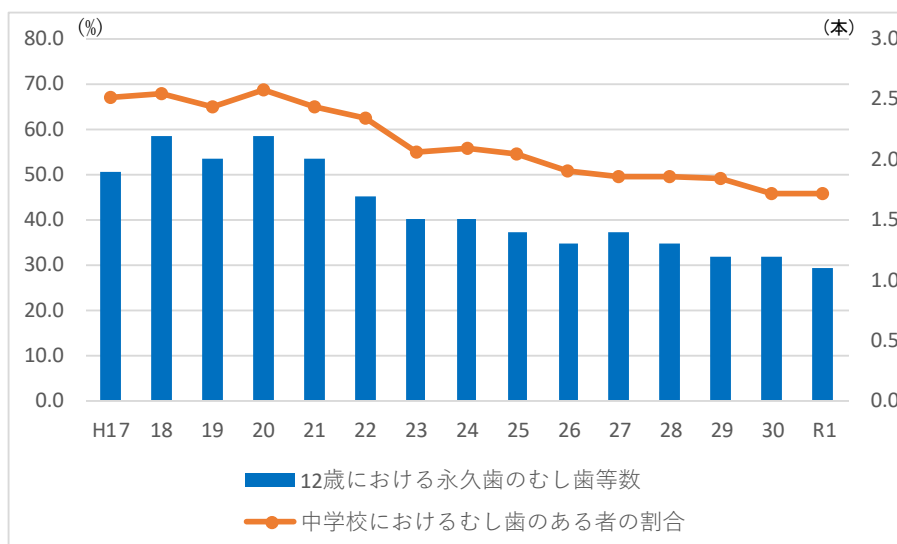
- ・中学1年（12歳）のみを調査対象としている永久歯の1人当たりの平均むし歯数（喪失歯及び処置歯数を含む）は、前年度より0.1本減少して1.1本となり、年次推移でみると減少傾向にある。

表11 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）等数

(本)

区分		平成11年	21	27	28	29	30	令和元年
計		3.1	2.0	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1
喪失歯数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
むし歯 (う歯)	計	3.1	2.0	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1
	処置歯数	2.1	1.3	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7
	未処置歯数	1.0	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4

グラフ11 中学校におけるむし歯（う歯）の被患率等の推移



ウ. ぜん息

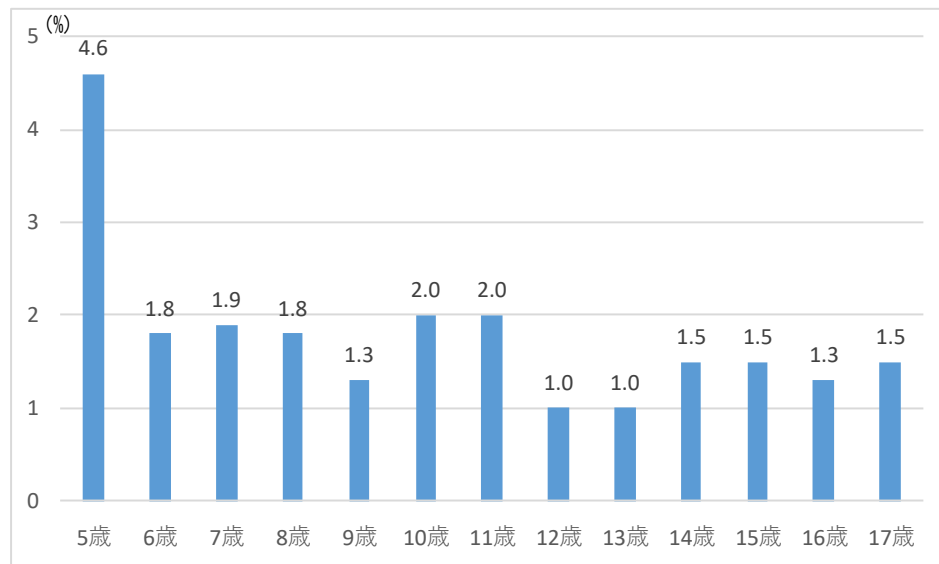
- ・「ぜん息」の者の割合は、20年前と比較すると、全学校区分で増加している。
- ・年齢別にみると、5歳が4.6%と最も高くなっている。
- ・年次推移でみると、全学校区分で概ね全国平均を下回りながら、推移している。

表 1 2 ぜん息の被患率の推移

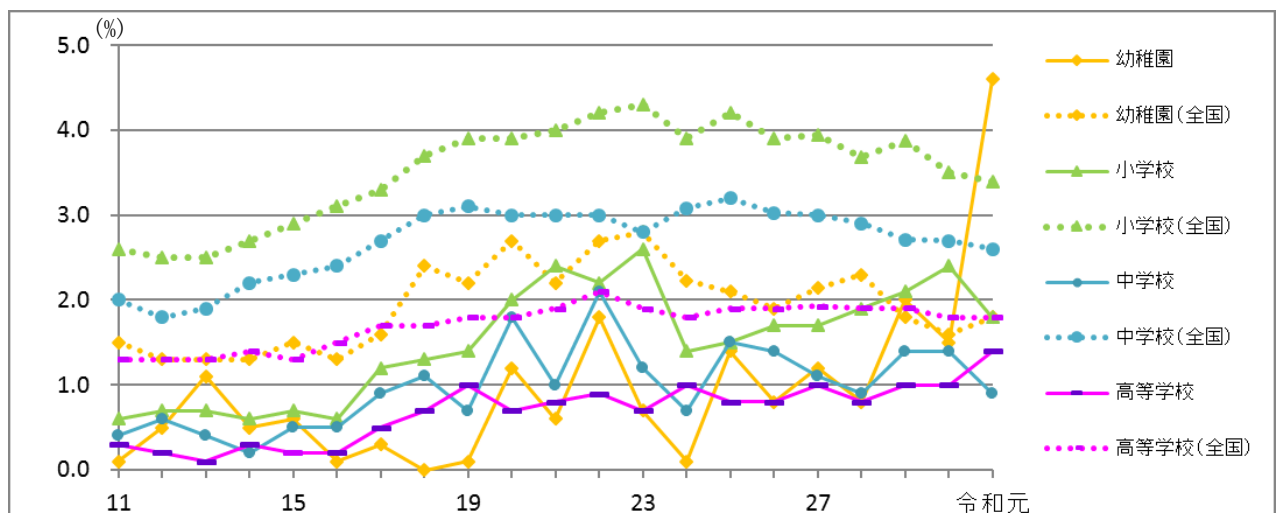
単位 (%)

	平成11年	21	27	28	29	30	令和元年
幼稚園	0.1	0.6	1.2	0.8	2.0	1.5	4.6
小学校	0.6	2.4	1.7	1.9	2.1	2.4	1.8
中学校	0.4	1.0	1.1	0.9	1.4	1.4	0.9
高等学校	0.3	0.8	1.0	0.8	1.0	1.0	1.4

グラフ 1 2 年齢別 ぜん息の者の割合



グラフ 1 3 ぜん息の被患率の推移



エ. アトピー性皮膚炎

- ・「アトピー性皮膚炎の被患率」は、全学校区分で、全国平均を下回っている。
- ・10年前と比較すると、その割合は幼稚園と高等学校においては増加し、小学校と中学校においては減少している。
- ・年次推移をみると、全学校区分で、概ね全国平均を下回りながら、推移している。

表 1 3 アトピー性皮膚炎の被患率の推移

単位 (%)

	平成21年度	27	28	29	30	令和元年度
幼稚園	1.1	2.0	1.4	1.3	2.3	1.9
小学校	1.7	1.3	1.3	1.7	2.2	1.4
中学校	1.3	1.1	1.3	1.2	1.3	1.1
高等学校	0.8	1.2	1.1	1.0	1.3	1.1

グラフ 1 4 アトピー性皮膚炎の被患率の推移

